

# 2015 年度国際言語文化研究所連続講座 「70 年目の戦後史再考」

開催日時：2016 年 10 月 2 日・9 日・16 日・23 日・30 日（毎週金曜日）17:30－19:30

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム／

立命館大学国際平和ミュージアム

主催：立命館大学国際言語文化研究所

共催：立命館大学国際平和ミュージアム

## 企画趣旨

戦後 70 年—— 特定機密保護法の採択や集団的自衛権行使容認の閣議決定、安保法制をめぐる議論といった現行憲法を否定し、戦後体制を根底から切り崩していく政治状況が加速していくなかで、私たちはこの節目を迎えました。そしてこの年は東日本大震災ののちにむかえた最初の節目でもあります。この大震災が引き起こした原子力発電所の事故は、「原爆」を否定しながら、「原発」を周辺地域に建設しつづけた戦後体制の矛盾を露呈することになりました。したがっていま私たちに必要なことは、戦後を終わらせようとする「改憲」の立場と、現在の政治状況に歯止めをかけ、戦後体制を保持しようとする「護憲」の立場といった対立軸のなかで戦後を振り返ることではないはずです。むしろ、この二つの立場がせめぎ合いながら、あるいは両者が足並みをそろえて築き上げてきた戦後体制とその歴史を根本的に再考することが求められているといえましょう。日中・日韓関係の悪化や国内における排外主義の拡大、極端な格差社会の出現、地域社会の瓦解といった現代社会が抱える問題は、まさにこのような再考を要求しています。この連続講座は、この二つの立場の国民史が見落としていた、あるいは見ようとしなかった戦後の歴史に着目することで、70 年目の戦後史再考にアプローチしてみます。

国際言語文化研究所長 高橋秀寿

